

# 人・ものとのふれあいを通した豊かな心づくり

## 福井市進明中学校

### 1 取り組みの概要

#### (1) 地域や家庭と学校の連携実績

項目	回数
地域・学校協議会	3回
中学校区を単位とした協議会	1回
地域及び家庭への学校公開	27回

#### (2) 地域人材の活用 (のべ人数)

講師・ゲストティーチャー	58人
授業ボランティア	30人
登下校支援ボランティア	
その他 (巡回パトロール あいさつ運動 部指導)	延べ450人

#### (3) 特色ある活動

テーマ 『キャリア教育』
--------------

#### (2) 特色ある活動

##### ① 地域の人材による教育支援

##### ア) ザ・プロフェッショナル

(1学年対象の進路指導)

テーマ 「職業人に学ぶ」

- 講師 ①パテシエ ②建築家  
 ③アナウンサー ④動物飼育員  
 ⑤レゲエシンガー  
 ⑥美容師 ⑦消防士



【美容師の方の話を聞く生徒たち】

平成12年度から第1学年を対象に実施している。本時では、第一線で活躍している7人の職業人から、1年生全員が2人を選び、働くことの意義や喜び、仕事の特徴、またその仕事に就くために必要な資格などを直接聞いて、自分の将来の仕事について考えた。生徒たちは、熱心に聞き入り質問するなどして、「社会に出て職業に就くことの尊さ」「夢を実現するためには」といったことに思いを馳せた。

##### イ) 職場体験 (2学年対象の進路指導)

第2学年では、保護者の職場や地域の事業所等において3日間の職場体験を実施している。事前に、教員がある程度のお膳立てはするものの、後の細かいことについては生徒みずからが、お世話になる職場に直接電話などで連絡を取り持ち物や心構え集合時間などの打ち合わせを行う。

生徒にとっては、実際の職場にふれる最初の機会であり、貴重な体験になった。職場によって仕事内容は異なるけれども、日常の学校から離れたところで、教師や親以外の大人と接する機会があったことは有意義であったと思う。

#### 成果と課題

1年のザ・プロフェッショナルでは、生徒の将来の職業を考えるきっかけになった。講師のそれまでの苦労話や仕事に対する情熱ある話を聞いて、大きな成果があったと思う。ただ、講師の職業選定をどうするか、人材をどう見いだしていくかが課題である。また、2年生の職場体験にどう繋げていくか。課題は多い。

2年の職場体験は上記のように生徒にとって、大変有意義であったと思う。課題として、協力企業、事業所をどのように選び、依頼するかが大変難しい。企業、事業所への益々の行政の協力、働きかけが重要になっていくと思う。

